



# 下末吉だより

—下小70周年 未来に繋ごう 下小のバトン—

令和5年2月28日

3月号

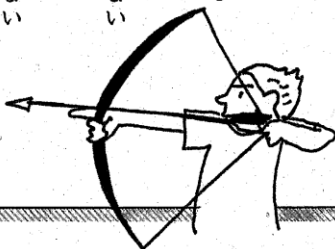
横浜市立下末吉小学校

## 再び初心にかえる

校長 江口 和良

### 親は弓、子どもは矢

あなたの子どもは、あなたの子どもではない  
待ちこがれた生そのものの息子であり、娘である  
あなたを経たが、あなたから来たのではない  
あなたとともにいるが、あなたに属してはいない  
あなたは愛情は与えても、考えを与えてはならない  
なぜなら、彼らには彼らの考えがあるから  
あなたは、彼らのようになる努力はしても  
彼らをあなたのようにすることを求めてはならない  
なぜなら、生は後もどりしないし、  
きのうにとどまりもしないのだから  
あなたは弓であり、  
あなたの子どもは、あなたから飛び立つ矢である。



昨年度に引き続き、今年度も最後の学校だよりの巻頭文に左の詩を掲載させていただきました。そして、「親は弓、子どもは矢」であるなら、小学校に勤務する教職員の一人である私は、放たれた矢を後押しする「追い風」になりたい、という子どもへの思いは、今も変わることはないことを再確認させていただきました。

創立70周年の令和4年度、下末吉小学校では、「未来に繋ごう下小のバトン！」をスローガンに、80年、100年、200年と引き継いでいきたい下小のよさをいくつも見つけることができました。

保護者や地域の皆様には、いつも下小の子ども達を温かく見守り、学校の教育活動にご理解とご支援をいただきまして、ありがとうございます。子ども達のため、下末吉小学校の教職員一同、これからも努力してまいりますので、引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

1月に Google Forms で実施した学校評価アンケートでは、約 80 名の方からご回答をいただきました。ご協力いただきましてありがとうございました。その中で、「ICT 機器(タブレット)を活用したり、教科分担制などにより多くの職員と関わったりすることで、お子様の学ぶ意欲が高まっていると思いますか。」という質問項目については、「そう思う」と「どちらかというと思う」を合わせて 83.8%という評価をいただきました。タブレットの活用については、教職員も研修を重ねたり、「端末持ち帰り試行校」として家庭学習での活用方法を模索したりする中で、その有用性と今後の可能性を実感しているところです。ちなみに、今年度 6 年生は卒業文集づくりでもタブレットを活用しました。文章の組み立てや推敲などの作業に余裕をもって取り組むことができ、一人ひとりの下小卒業への思いが詰まった卒業文集になりそうです。

2月 17 日に実施した懇談会の冒頭でお話をさせていただきました学校評価アンケート結果の概要は、学校評価報告書と合わせて、後日学校のホームページに掲載します。